

# エクイティ・ファイナンスに関する 補足資料

2022/6/30

東証プライム 3676

<https://www.digitalhearts-hd.com/>

当社グループでは、“**SAVE the DIGITAL WORLD**”を企業ミッションとして掲げております。この企業ミッションのもと、ゲームの不具合検出を行うデバッグを中心とする**エンターテインメント事業**及びWebシステムや業務システムの不具合検出を行うシステムテストを中心とする**エンタープライズ事業**を展開することで、増加するデジタルサービスの品質・安全性向上への貢献を目指しております。

特に、エンタープライズ事業においては、慢性的なIT人材不足やDXの加速等を背景に、システムテストのアウトソースニーズが急速に拡大していることから、当社では成長を支える注力事業として同事業を位置付けております。かかる事業において、財務の健全性を確保しつつも、スピード感ある成長を実現するためには、**①将来のM&Aのための待機資金、②過去のM&A資金の返済、③技術研究費及びエンジニア確保・育成費**に対する投資が必要不可欠であると判断いたしました。

当社グループでは、このような取り組みを通じ、多様化する顧客ニーズに最適なテストソリューションを高い水準で提供できる企業への進化を目指して参ります。

## 発行方法

BofA証券株式会社に対する第三者割当

## 調達予定額 \*

約4,244百万円(差引手取概算額)

## 新株予約権の目的となる株式の数

第7回新株予約権 1,194,000株(総発行済株式数対比5%)  
 第8回新株予約権 1,194,000株(総発行済株式数対比5%)

\*第7回新株予約権は、現在保有の自己株式を充当予定

## 行使期間

2022年7月20日～2024年7月19日までの2年間

## 手取金の使途

使途	金額	概要
将来のM&Aのための待機資金	2,944百万円	➤ エンジニア増強・技術力向上に向けたM&Aを積極化
過去のM&A資金の返済	1,000百万円	➤ 過去にM&Aを行った際に実施した銀行借入の返済
技術研究費及び エンジニア確保・育成費	300百万円	➤ 新しい領域におけるテスト技法の確立や自動化といった最新技術の活用に向けた研究開発 ➤ 新しいテスト技法や最新技術に対応したエンジニアの確保・育成

\* 差引手取概算額は、行使価額の修正が行われた場合や新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合等に増減する可能性があります。

Copyright© 2022 DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 高収益事業のエンターテインメント事業の安定成長の下支えのもと エンタープライズ事業の急拡大を目指す

### M&A

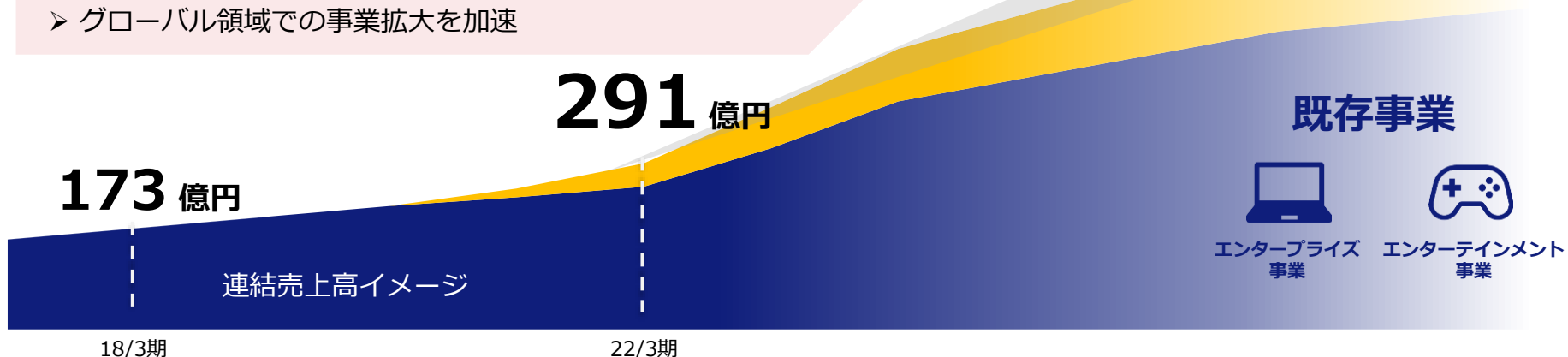
- ▶ エンジニア人材プールの拡大やテスト自動化といった技術力向上に向けたM&Aを継続

### 既存事業：エンタープライズ事業

- ▶ 先端品質テクノロジーの追求及びQA(\*)の専門性向上に注力
- ▶ 世界標準規格に準拠したテストプロセスの提供

### 既存事業：エンターテインメント事業

- ▶ 国内での圧倒的なシェアを強みに安定的に利益を創出
- ▶ グローバル領域での事業拡大を加速



\* 上記の連結売上高のグラフはイメージであり、当社の連結売上高推移の予想ではなく、上記の通りに推移することを約束するものではありません。

\* QA…Quality Assurance(品質保証)の略

Copyright© 2022 DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 厳格な基本方針のもと、引き続き戦略的M&Aを積極実施

### M&Aの基本方針

1. **厳格なROIC基準の適用**により、高い投資効率・収益性を維持  
\*ROIC=(EBITDA×(1-実効税率))÷(有利子負債+株主資本)
2. 買収対象は**成長企業**かつ**単体利益が黒字**の企業
3. 自立成長とシナジー効果のバランスの取れたPMI計画

### ターゲット企業

- エンジニア拡充
- ・ソフトウェアテスト会社
  - ・オープン系の開発エンジニアを有する企業
  - ・SES人材を自社に有する企業
- 技術・ノウハウ強化
- ・国内のERP関連企業

### 対象企業の規模

売上高 : 5~30億円  
 エンジニア数 : 30~150名  
 買収価額 : 最大30億円

### 実施件数

年間2~3件程度のクロージングを想定

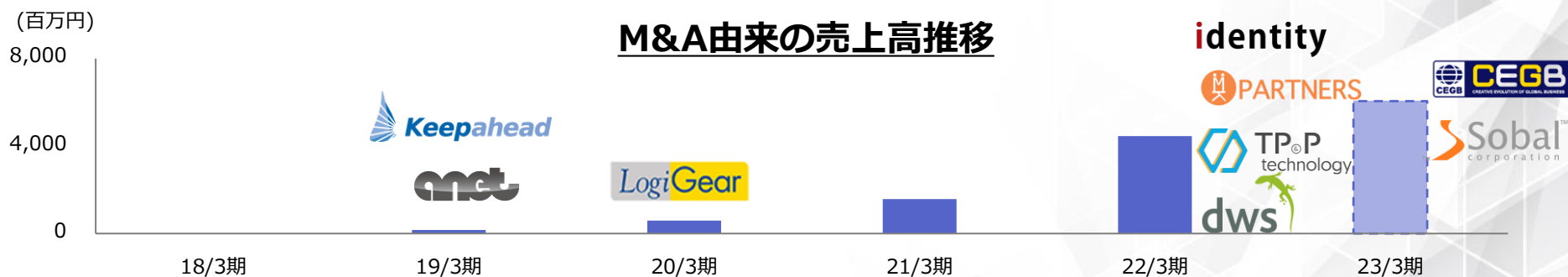
### ガバナンス

- ・投資委員会において、各分野の専属部署と様々な観点から議論
- ・M&Aやファイナンスに関する豊富な知見を有する社外取締役の助言等も踏まえ、取締役会にて慎重に判断

## エンタープライズ事業の事業基盤の強化と売上の拡大を目的に M&Aを積極的に活用

### 過去のM&A等の実績

(2018年) 株式会社エイネット	株式取得	医療分野に強みを持つ国内のテスト会社
(2018年) 株式会社キープ Ahead	事業譲受	通信系のシステム開発に強みを持つ開発事業部門の譲受
(2019年) LOGIGEAR CORPORATION	株式取得	独自のテスト自動化ツール及びベトナムのオフショア拠点を有する米国シリコンバレーのテスト会社
(2021年) TPP SOFT, JSC	合併会社設立	欧州や米国に顧客を持つベトナムのシステム開発会社
(2021年) MK Partners, Inc.	株式取得	米国拠点のSalesforceのコンサルティング会社
(2021年) 株式会社アイデンティティー	株式取得	高度ITフリーランスエンジニアを多数有する国内SES会社
(2022年) DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED	株式取得	英国拠点のOracle製品のテスト自動化に強みを持つ会社
(2022年) 株式会社CEGB	株式取得	SAPの導入支援、保守・運用に強みを持つ国内の開発会社
(2022年) ソーバル株式会社 ※	吸収分割	ソフトウェアテストを行う事業部門の承継



## 人材・技術強化に向けた投資を積極化

### 人材



#### エンジニアスキルの標準化及びボトムアップを推進

##### AGEST Academyを設立

- Black氏監修のテストエンジニアトレーニングプログラムの提供
- 現役エンジニアから実践的な知識とスキルを学ぶ“CYBER BOOT CAMP”の開催
- Reid博士監修のAIテストトレーニングプログラムの提供

#### Supported by



Black氏  
元ISTQB(\*)  
代表



Nguyen  
テストの  
世界的権威



高橋  
日本のテスト  
の第一人者

### 技術



#### 産学連携により新たなテスト手法の研究・実用化を推進

##### 主な研究内容

- AI製品へのソフトウェアテストの適応
- アジャイルテストに関する研究
- ファジングテスト手法を用いたセキュリティテストの研究

#### Collaborate with



電気通信大学  
西氏



早稲田大学  
鷺崎氏



長崎県立大学  
加藤氏

### プロセス



#### ソフトウェアテストの国際規格にいち早く準拠

##### 国際規格“ISO/IEC/IEEE 29119”への準拠

- “ISO/IEC/IEEE 29119”に準拠したテストプロセスを策定することで、**テストの精度・品質を向上**
- **日本で初めて**Reid博士監修のISOトレーニングプログラムを提供することで、**テスト品質を標準化**

#### Supported by



Reid博士  
ソフトウェアテストの国際規格を開発  
したISO Working Group26の議長



		第7回新株予約権	第8回新株予約権
発行方法		BofA証券株式会社に対する第三者割当	
割当日		2022年7月19日	
発行概要	想定調達額	約4,244百万円(差引手取概算額)	
	発行数	1,194個	1,194個
	潜在株式数	1,194,000株(総発行済株式数対比5%) ※現在保有の自己株式を充当予定	1,194,000株(総発行済株式数対比5%)
	行使期間	2022年7月20日～2024年7月19日までの2年間	
行使価額	当初行使価額	1,776円 ※発行決議日前日終値	
	行使価額の修正	各行使請求日の直前取引日終値の92%の金額に修正	権利行使期間中に当社が取締役会決議により決定した場合、当該決議日前日終値の100%に相当する金額に修正
	上限行使価額	なし	
	下限行使価額	1,776円 ※発行決議日前日終値	
その他	行使制限条項	有（当社から新株予約権を行使することができない期間を指定）	
	コミットメント条項	20営業日に過去1ヵ月or3ヶ月の小さい方の平均出来高の3日分を行使指定	—
	取得条項	2週間以前の事前通知により1個あたり発行価額で取得可能	
手取金の使途		①将来のM&Aのための待機資金 ②過去のM&A資金の返済 ③技術研究費及びエンジニア確保・育成費	



行使期間 (2022年7月20日～2024年7月19日)

## 第7回新株予約権

- 行使価額は各行使請求日の直前取引日終値の92%に修正

行使停止

行使可能

当社にて、「行使することができない期間」を指定可能

当社の判断で「行使することができない期間」の取り消しがいつでも可能

当社にて、「行使することができない期間」を指定可能

第8回新株予約権  
当社取締役会決議にて、直前取引日の終値の100%に行使価額の設定が可能

行使価額のディスカウント率8%

行使

## 第8回新株予約権

- 第7回新株予約権の行使終了後に実施予定
- 行使価額は当社の取締役会決議にて設定が可能

行使停止

行使可能

当社の判断で「行使することができない期間」の取り消しがいつでも可能

当社取締役会決議にて定めた価額で行使

行使価額は当社取締役会決議にて再設定が可能

行使

当社取締役会が定める行使価額を下回っているため行使が想定されない

下限行使価額  
1,776円

発行決議日前日  
(6/29)の株価

1.上記の株価推移のグラフはイメージであり、当社の株価推移の予想ではなく、当社株価が上記の通りに推移することを約束するものではありません。  
2.新株予約権の行使請求は、割当予定先 (BofA証券株式会社) が市場動向等を踏まえた上で行うものであり、必ずしも上記イメージ通りに行使請求が行われるものではありません。

質問	回答
1. このタイミングで資金調達を実施しようと思った理由はなんですか？	システムテストのアウトソース需要が急増している中、これらの需要を確実に獲得できる事業基盤を迅速に整備するためには、M&Aの積極活用が不可欠であると考えています。現時点で、M&Aの実施時期、候補企業、個別投資金額は定まっておりませんが、一方で短期間に多額の投資が必要となることから、機会を逃さないためにも当該資金を確保できる手段をできる限り早めに確保すべきと考え、この度資金調達を実施することといたしました。
2. なぜ公募増資や銀行借入ではなく新株予約権を選択したのですか？	他の資金調達手法と比較検討を行った結果、財務健全性を保ったまま機動的な資金調達が可能であることに加え、当社が本新株予約権の行使の数量及び時期を相当程度コントロールすることができること、さらに一時に大幅な株式価値の希薄化が生じることを抑制することが可能であること等から、既存株主の利益に配慮しながら当社の資金ニーズに対応しうる、現時点における最良の選択であると判断いたしました。
3. 今回の資金調達方法のメリットは何ですか？	主に下記4点のメリットがあります。 ①当社の資金需要や株価動向を総合的に判断した上で、柔軟な資金調達が可能であること ②第7回新株予約権の目的である当社普通株式数は1,194,000株で一定であるため、株価動向によらず、当初最大増加株式数は限定されていること。さらに第8回新株予約権で増加する株式数も、1,194,000株で一定である上、株価が上昇するまでは停止指定を行い、株価が上昇したときに行使価額が修正されて行使されることが想定されるためさらに実質的な希薄化を抑えることができること ③上限行使価額の設定がないため株価上昇時には調達金額が増大するというメリットを享受できること ④資金調達が不要になった場合は、残存する新株予約権を取得できること

質問	回答
4. デメリットはありますか？	<p>主に下記2点のデメリットがあります。</p> <p>①市場環境に応じて、行使完了までには一定の期間が必要となること</p> <p>②株価が下限行使価額を下回って推移した場合、調達ができない可能性があること</p>
5. 調達予定額はいくらですか？	<p>発行諸費用を控除した手取概算額の合計は約4,244百万円を想定しております。ただし、この金額は、当初行使価額（発行決議日時点）で全ての新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。行使の進捗状況や行使価額の修正等に応じて増減いたします。</p>
6. 希薄化の規模はどの程度ですか？	<p>本新株予約権全てが行使された場合の交付株式数は最大2,388,000株、議決権の数は23,880個であり、2022年3月31日現在の総議決権216,219個に対する割合は11.0%となります。</p>
7. 第7回新株予約権と第8回新株予約権の違いは何ですか？	<p>第7回新株予約権は、行使価額が「各行使請求日の直前取引日終値の92%」となっているので、（下限行使価額を上回っている場合）日々の株価に連動するのに対し、第8回新株予約権は、行使価額は「当社の取締役会決議にて設定」する形となるため、自動的に日々の株価には連動しない点が大きく異なります。また、第7回新株予約権は、現在当社が保有している自己株式を充当する予定です。</p>
8. なぜ第8回新株予約権は、第7回新株予約権と異なるスキームにしたのですか？	<p>第8回新株予約権は、社外取締役の意見も踏まえ取締役会にて行使価額を決議するスキームとなっています。当社では、株価が一定程度上昇するまでは停止指定を行うことを予定しており、株価の動向や事業上の資金ニーズを取締役会で慎重に検討したうえで行使価額を決議する本スキームの採用により、適切なタイミングで効率的に資金調達を図ることができると考えています。</p>

質問	回答
9. 割当先にBofA証券株式会社を選んだのはなぜですか？	<p>当社は、BofA証券株式会社以外の他の国内外の金融機関からも本スキームに類似した資金調達方法の提案も受けました。その中で、BofA証券株式会社は、同社が有するトレーディング機能等を活用して、株価に対する影響に配慮しつつ執行することを想定していることや、同社の商品性や過去の実績等を総合的に勘案した結果、BofA証券株式会社を割当予定先として選定いたしました。</p>
10. 第7回新株予約権のコミットメント条項とはなんですか？	<p>今後資金需要が発生した際に、当社が、一定の条件に従って行使指定できる仕組みとなっており、割当予定先は、行使指定を受けた場合、指定された数の第7回新株予約権を、20取引日の期間中に、終値が下限行使価額の120%に相当する金額を下回った場合には行使しないことができる等、本第三者割当て契約に定める一定の条件及び制限のもとで、行使することをコミットするものです。</p>
11. 貸株・空売り等を行われますか？	<p>本新株予約権の権利行使により取得する当社株式の数量内で行う売付け等以外の本件に関わる空売りを目的として、当社株式の借株は行わないことを、割当予定先であるBofA証券株式会社から確認しております。</p>
12. 業績に与える影響はありますか？	<p>2023年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。</p>



DIGITAL HEARTS HLDGS.

〈お問い合わせ先〉

IR 広報室

電話 : 03-3373-0081

Email : [ir\\_info@digitalhearts.com](mailto:ir_info@digitalhearts.com)

HPアドレス : <https://www.digitalhearts-hd.com>

本資料はインベスター・リレーションズに関わる活動（IR活動）を実施する際の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資判断の参考となる情報の提供及び投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は弊社が信頼に足ると思われる各種情報に基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性及び完全性を保証するものではありません。また、本資料の内容は、作成時における弊社の見解または評価を示したものであり、市場環境の変化等により予告なく変更される場合があります。

また、本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

なお、各社の会社名、サービス・製品名は各社の商標または登録商標です。